

# 遊ぶことが 学ぶこと



▲光る泥団子づくりに没頭する子どもたち。このような経験が小学校以降の学習で集中力を発揮することにつながります



①



②



③

**「遊びで」「教育する」という一見矛盾した幼児教育の世界**

幼稚園の子どもたちは基本的に遊んでいます。これは、法律上「学校」と定められる幼稚園が「遊びを通して教育活動を行う」と決められているからです。ただ、教育である以上、そこにはカリキュラムというものも存在します。簡単に言うと、この時期にはこういうことをして、その結果こんなことを学んでほしい、という計画のようなものです。

一方で「遊び」とは「幼児の自発的な活動」と定義されています。つまり幼稚園の教師は、子どもたちが自分でその遊びを行っているつもりにさせ

て、実はカリキュラムの内容を実践しているのです。簡単なように見えてこれは難しいことです。この時期は泥団子を作って遊んでほしい、とカリキュラムにあっても、教師が「今から泥団子を作って遊びましょう」と率先してしまうと、そこに子どもたちの自発性はなくなってしまうのです。

**「子どもたちの「遊び」を引き出す教師**

ではどうするか。一つは子どもたちの「楽しい」を引き出すことです。楽しいと分かれば、子どもたちは誰に言われずとも自分たちでどんどん行きます。

そしてもう一つは「できた」という達成感を体験させ

ることです。それまでできなかったことが、本人の努力や周囲からの協力のできるようになったとき、何度もやりたくなるのは大人も同じではないでしょうか。

神興幼稚園の教師たちは、さまざまな手法を使ってこの2つを子どもたちに経験させ、その自発性を引き出すことが抜群に上手です。だから子どもたちは目いっぱい遊び、確かな成長を保障され、保護者まで楽しくなってしまふほどの姿を日々見せてくれるのです。

**「あんなに声のトーンが低くていいんですね」「先生たちの声掛け(の頻度)が少ない」**

**同業者も驚く教師の関わり**

①②できると楽しい竹馬やこま回し。挑戦の段階から子どもたちの自発性を引き出します③遊びの準備も自分たちで行います。「準備ができるよう準備しておくのも教師の役割です」

▶県の幼児教育アドバイザーや特別支援コーディネーター、絵画・制作の達人、劇・ダンス遊びのマイスターなど、多彩な専門性をもつ教師がそろっています



# 公立幼稚園という選択



▲鬼ごっこをして遊ぶ子どもたち。楽しんで遊ぶ中で、ルールやきまりを守ることを学んでいます

## 市内唯一の公立幼稚園

# 福津市立神興幼稚園

～経験豊かな教師が行う魅力あふれる保育～

**「2年間、すっごく楽しかったです！」**

そう話してくれたのは、3月に卒園した園児の保護者。入園前から、神興幼稚園が開催する、未就園児を対象とした体験企画に参加し「この園がいい」と4歳になるのを待って入園しました(神興幼稚園は2年保育)。

神興幼稚園を選んだ理由は何だったのでしょうか。それはおそらく、神興幼稚園で過ごす子どもたちや、さまざまなことを体験する我が子の姿を見たからに違いありません。ここには伸び伸びと過ごし、目いっぱい遊び、楽しむ子どもの姿があります。今回は、親子そろってその楽しさを味わえるほどの神興幼稚園の魅力に迫ります。

公開保育を参観した保育所や小学校の先生たちからは驚きの声が上がります。それもそのはず、子どもたちの自発性が確立されると、多くの指示はいらなくなるのです。

教師全員が20年以上の経験をもつベテランぞろいですが、しかも、教師としての専門性に加え、それぞれの特性を生かした保育を展開します。それが神興幼稚園の魅力につながっているのです。



神興幼稚園

住所：福津市東福岡 6-4-3  
問い合わせ：042-2107

